



人に優しい新たな認知症の評価法

大阪大学大学院人間科学研究科
臨床死生学・老年行動学研究分野

大庭 輝

2020.9.8@SSI基幹プロジェクトシンポジウム



命を支えるということ

どのように**生**きたいのか

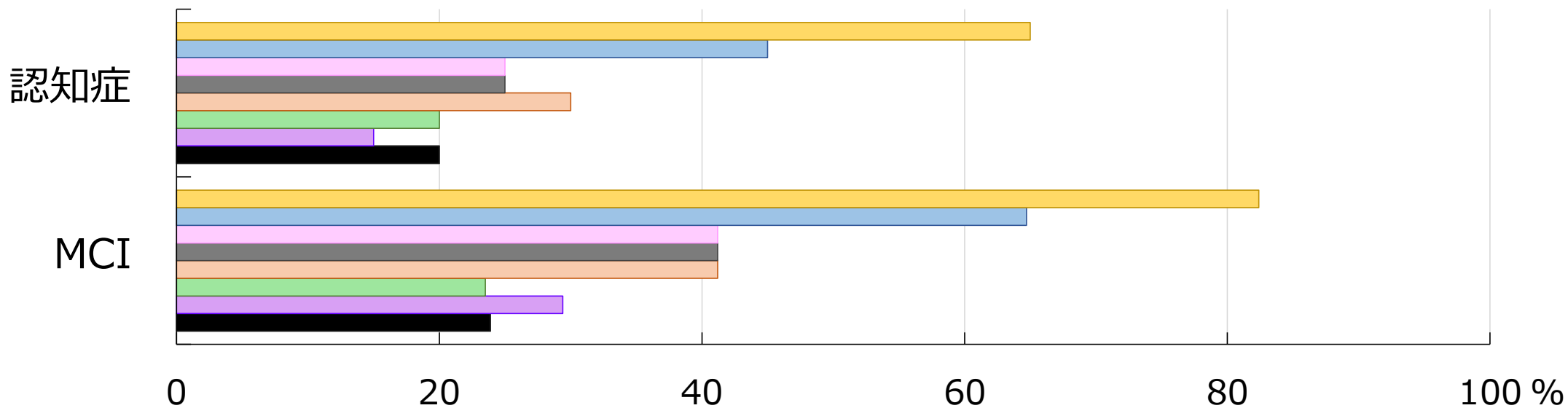


どのような**死**を迎えたいのか



認知機能障害のある高齢者の生活の願望

- 維持・継続
- 健康
- 楽しみ
- 自立・自律
- 迷惑回避
- 勝手気まま
- 最後の迎え方
- 配偶者との関係



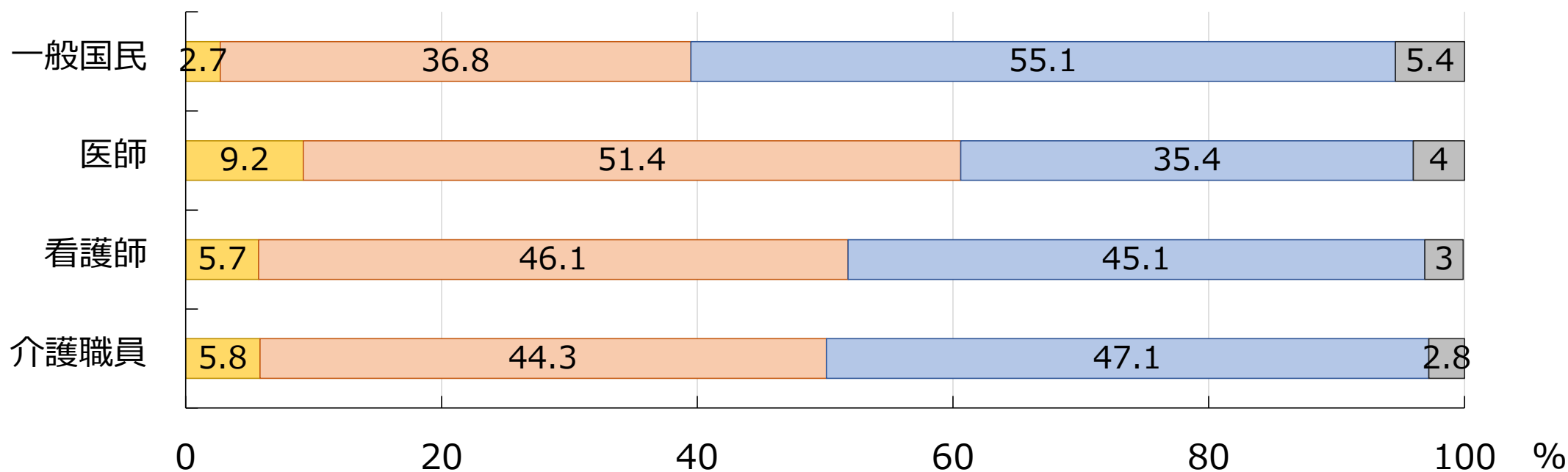
※MCI (Mild Cognitive Impairment) : 軽度認知障害 (認知症の前駆段階)

藤田雄・大庭輝・宮裕昭 (in submission). 外来通院中の軽度認知障害と初期認知症の高齢者本人におけるニーズおよび生活への願望の把握.
藤田他 (2019). 軽度認知障害もしくは軽度認知症の高齢者本人の有するニーズおよび生活への願望に基づく本人視点に立った支援の検討. 日本老年行動科学会第22回大阪大会抄録集, 29.



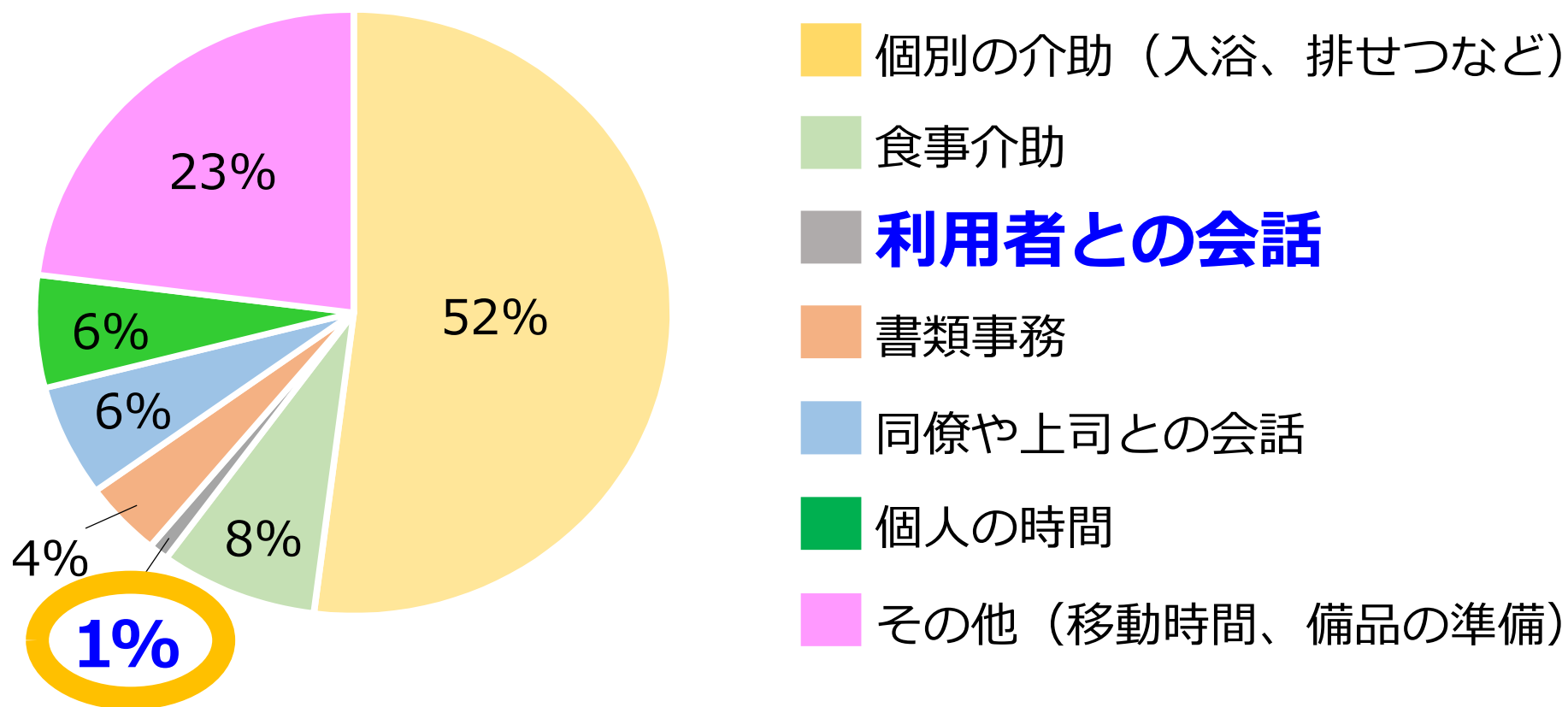
人生の最終段階の医療についての話し合い

■ 詳しく話し合っている ■ 一応話し合っている ■ 話し合ったことはない ■ 無回答





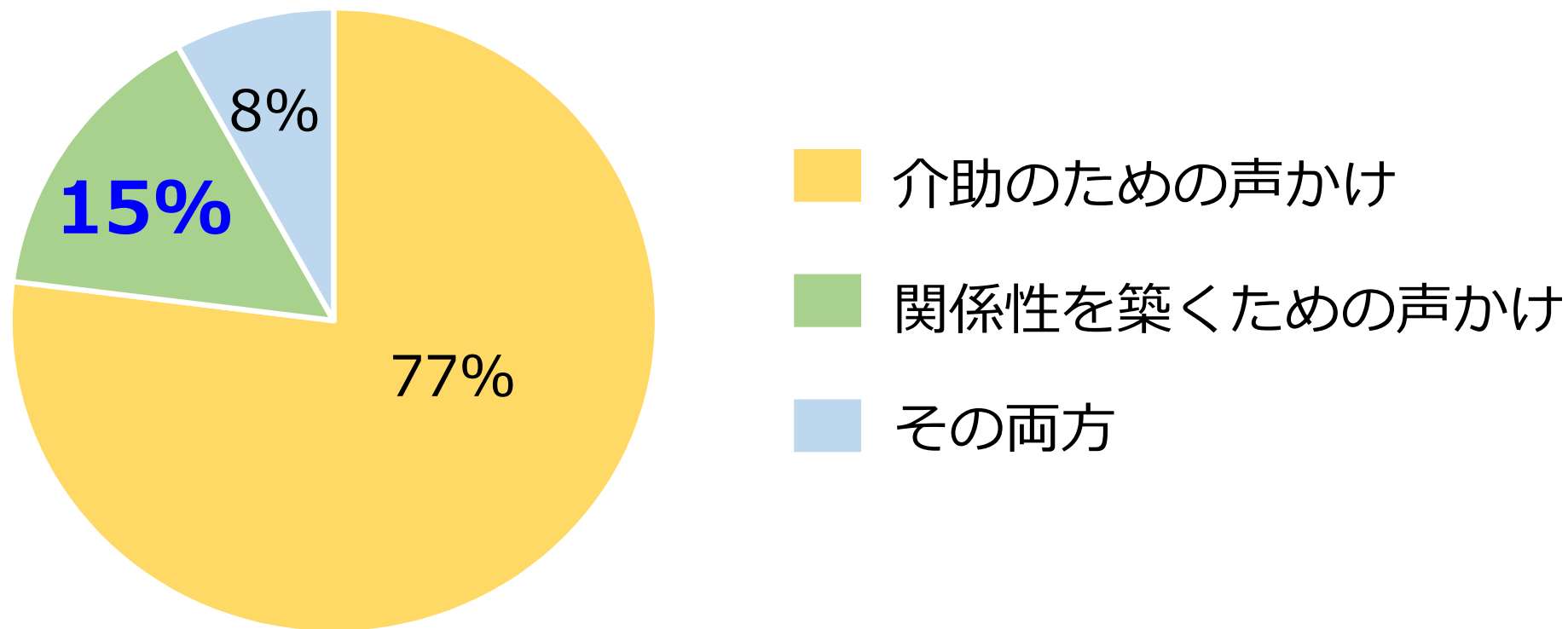
対話はできているか？

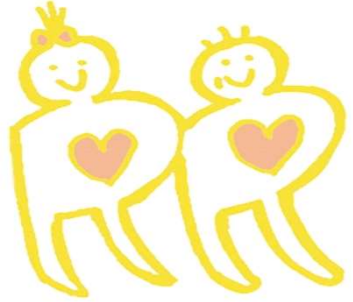


Mallidou et al. (2013). Health care aides use of time in a residential long-term care unit: a time and motion study. *International Journal of Nursing Studies*, 50, 1229-1239.



対話はできているか？





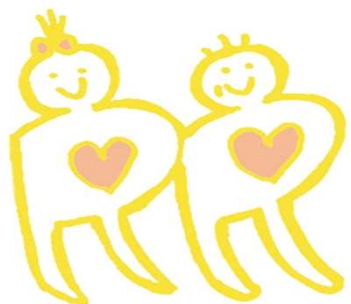
対話を妨げる職場風土

課題志向型

“Doing”

関係志向型

“Being”



日常会話式認知機能評価 CANDy

Conversational **A**ssessment of **N**eurocognitive **D**ysfunction

項目例（全15項目）	神経認知領域	該当 (N/%)
1. 会話中に同じことを繰り返し質問してくる	記憶障害	22 / 95.7
2. 話している相手に対する理解が曖昧である	人物誤認	19 / 82.6
3. どのような話をしてても関心を示さない	興味・関心の喪失	21 / 91.3
4. 会話の内容に広がりがない	思考の生産性・柔軟性の障害	22 / 100
5. 質問をしてても答えられず、ごまかしたり、はぐらかしたりする	取り繕い	21 / 91.3

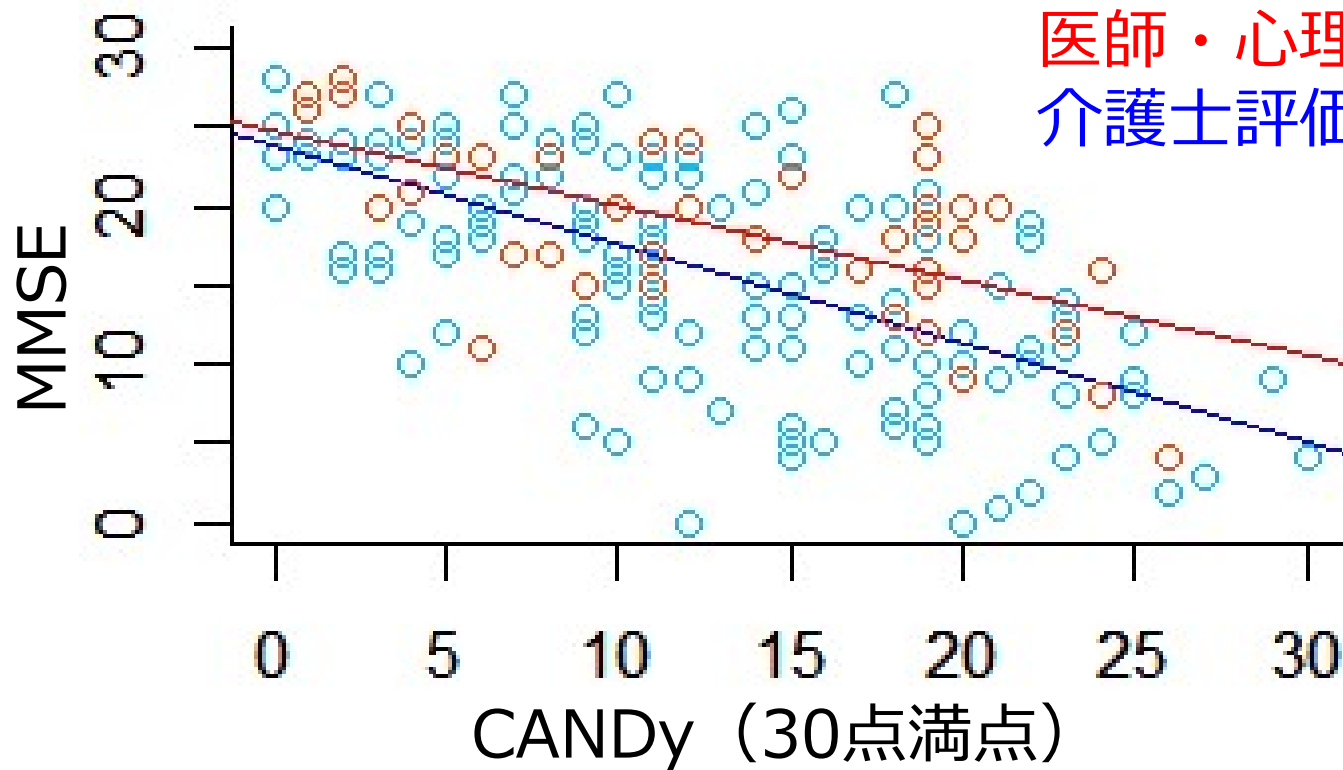
詳しい項目は <http://cocolomi.net/candy/> をご覧ください



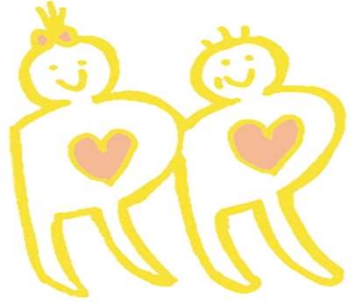
大庭輝・佐藤眞一・数井裕光ほか（2017）．日常会話式認知機能評価（Conversational Assessment of Neurocognitive Dysfunction; CANDy）の開発と信頼性・妥当性の検討．老年精神医学雑誌，28，379-388．



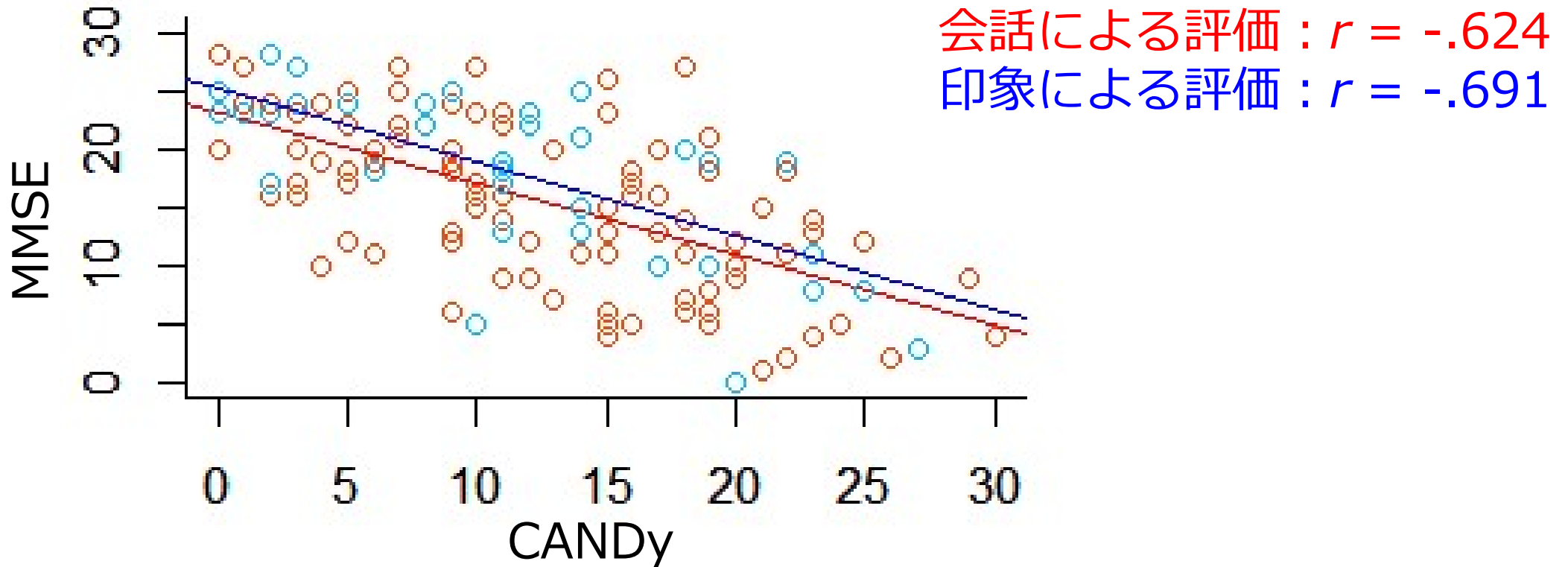
CANDyの有用性



医師・心理士評価($n=45$) : $r = -.629$
介護士評価($n=158$) : $r = -.640$



介護現場でのCANDyの有用性



Oba H, Sato S, Kazui H, et al. (2018). Conversational assessment of cognitive dysfunction among residents living in long-term care facilities. *International Psychogeriatrics*, 30, 87-94.



これまでと今後の活動



民間企業

- ・コミュニケーションロボット開発



徳島大学工学部
高知工科大学

- ・自然言語解析による判定指標開発
- ・健診コホート研究用マニュアル

大学や企業の
関与



介護

(社福) 大阪府社会福祉事業団

- ・事例検討での活用
- ・CANDy活用によるケアの変化

地域包括ケアシステム



高齢者



医療

京都府立医科大学
附属病院精神科

- ・評価精度の検証
- ・面接法の検証



東京都

- ・認知症検診推進事業用マニュアル